

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 西東京教室 保護者等数(児童数) 40 回収数 25 割合 62 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1		2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	3		5	ハグに反映してほしい	人数を分かる様に記載していく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1	1	13	肢体不自由の児童向けではないので、ないと思う	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22	3			たまたま被ってしまったことがあった。色々なイベントがあり、ありがたい。	色々な活動を考え被らないようにしていく。重要度が高い活動は繰り返し、身に付けてほしい事を分かってもらう。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	17		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	3			アプリで状況を伝えてもらえている。	事業所内相談窓口を開設したので利用してもらう
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25				定期的に面談がある。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	16	8	保護者会があると聞いていない。聞いてくれたらありがたい。	保護者会を開く方向で話は進んでいる。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25				苦情の経験はないが、事前にきちんと説明があった	ご意見を頂いた際には、迅速に対応する事を心がけています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24			1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	12		10		
14 個人情報に十分注意しているか	25						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25					
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25				活動に組み込まれている。	今後も月に1回の防災訓練を行っていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	25				毎週楽しみにしている。	継続して、児童が楽しく通える場所にしていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	24	1				

344 27 23 56

76%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 西東京教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	2		
	2 職員の配置数は適切である	6	4	非常勤に常に声掛けをし指導員の数が少なくならないようにきをつけている。	非常勤の人数に偏りを感じる事がある。送迎にでてしまうと少なく感じる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	0		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	時間を見つけ都度話し合いの場を設けている。議事録をつけ回覧するようにしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	7		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	5		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	4	各々が行きたい研修がある場合は上司と相談し行かせてもらえるように働きかけてもらっている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	保護者との面談を踏まえ計画書が作成されており、読める環境になっている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	ファイリングされている書類に目を通している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2		非常勤も参加し、みんなで考えたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		固定化されないように、意見交換をしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	外出や課題を多く設け、活動できている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	常勤からその日の支援内容や役割分担について毎回お話を頂いている。リーダーが個々にお伝えしている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3	支援中にもコミュニケーションを取り共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	2	計画の見直しをした際にはしっかり共有されている	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	2			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	3			
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	5		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	7	該当児童がない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	8	公園で児童と遊んでいた。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	9		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	保護者様と密に連絡を取っていると思う。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	4		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2	相談窓口を開設している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	8		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0		
	35	個人情報に十分注意している	10	0	ファイルの棚に鍵がついている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	0	10		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0	見やすい位置にて共有ファイルがある。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	動画を見たり、会議をして情報共有をしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1	表にされている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1	空いた時間にファイルを見るように促されている	